

リネットジャパングループ株式会社
2018年9月期 決算補足説明



Social Contributions

- ◆創業来のネットリユースが中心。そこで獲得した利益・強みを活かし新規事業へ先行投資し、育成

ネットリユース 事業

宅配買取のノウハウ
強みを活用

ネット
リサイクル
事業

中古商品のカンボジア
輸出を契機に進出

カンボジア
事業

◆ 2つの新規事業が成長ドライバーに育ち、3つの事業の柱に

自治体等の連携で認知度UP。
PC回収が大幅加速！

ネット
リサイクル
事業

ネット
リユース
事業

カンボジア経済の成長を受け、4つの事業が大きく伸長！！

カンボジア
事業

2018年度9月期決算概要

【重要情報】 カンボジア事業の2018年7月～9月の3ヵ月分は、
今期決算には取込めず、2019年9月期にスライド。

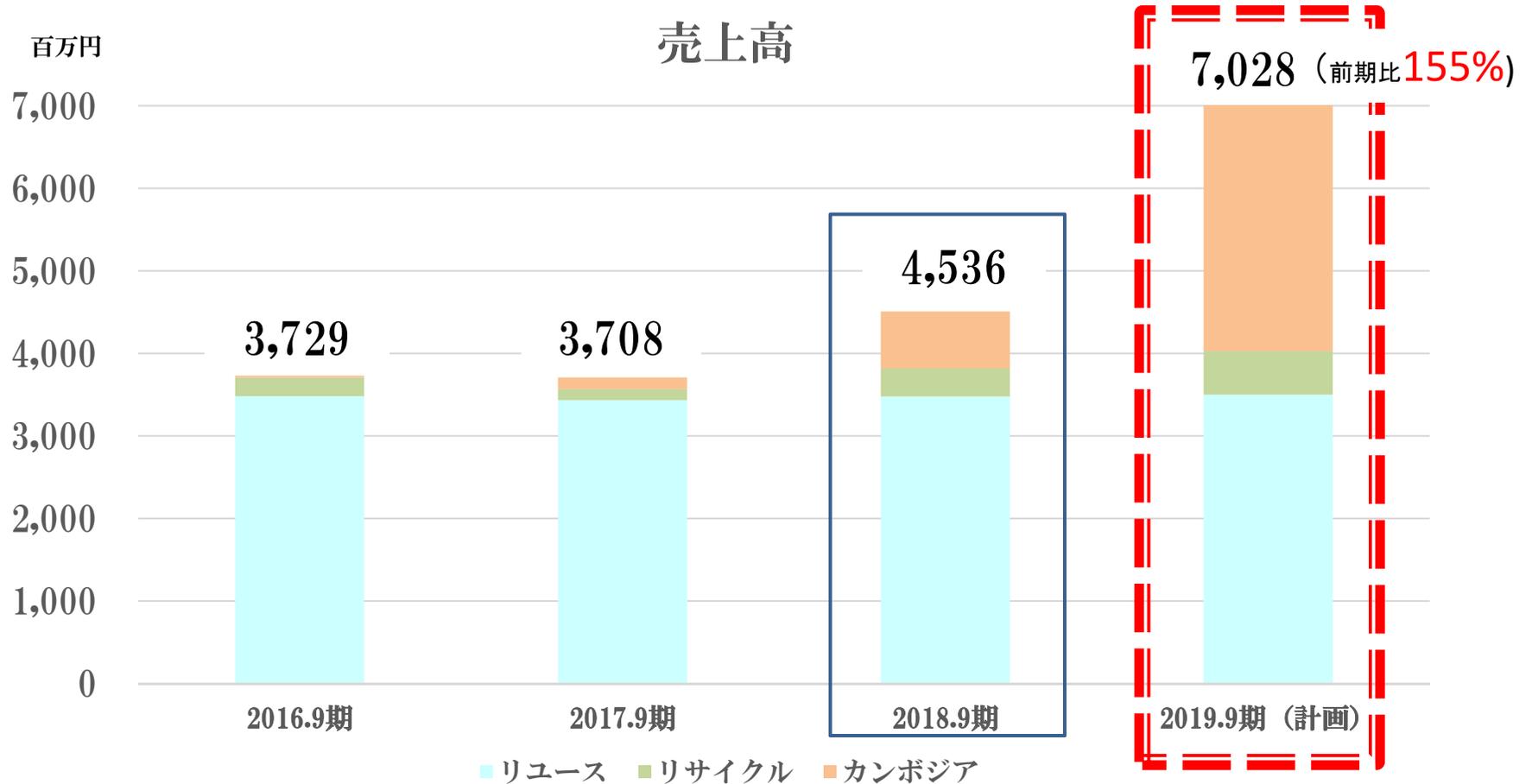
◆ **売上高** 4,536百万円 (対前年比 122.3%)

- 主にカンボジア事業が大きく伸長し、カンボジア事業は対前年比514.1%(+578百万円)
3ヵ月ズレ分(418百万円)を含むと、対前期比841.7%(+996百万円)
- リサイクル事業は、提携自治体数の増加などにより、対前期比252.4%(+206百万円)
- リユース事業は、対前期比101.2%(+43百万円)と堅調に推移

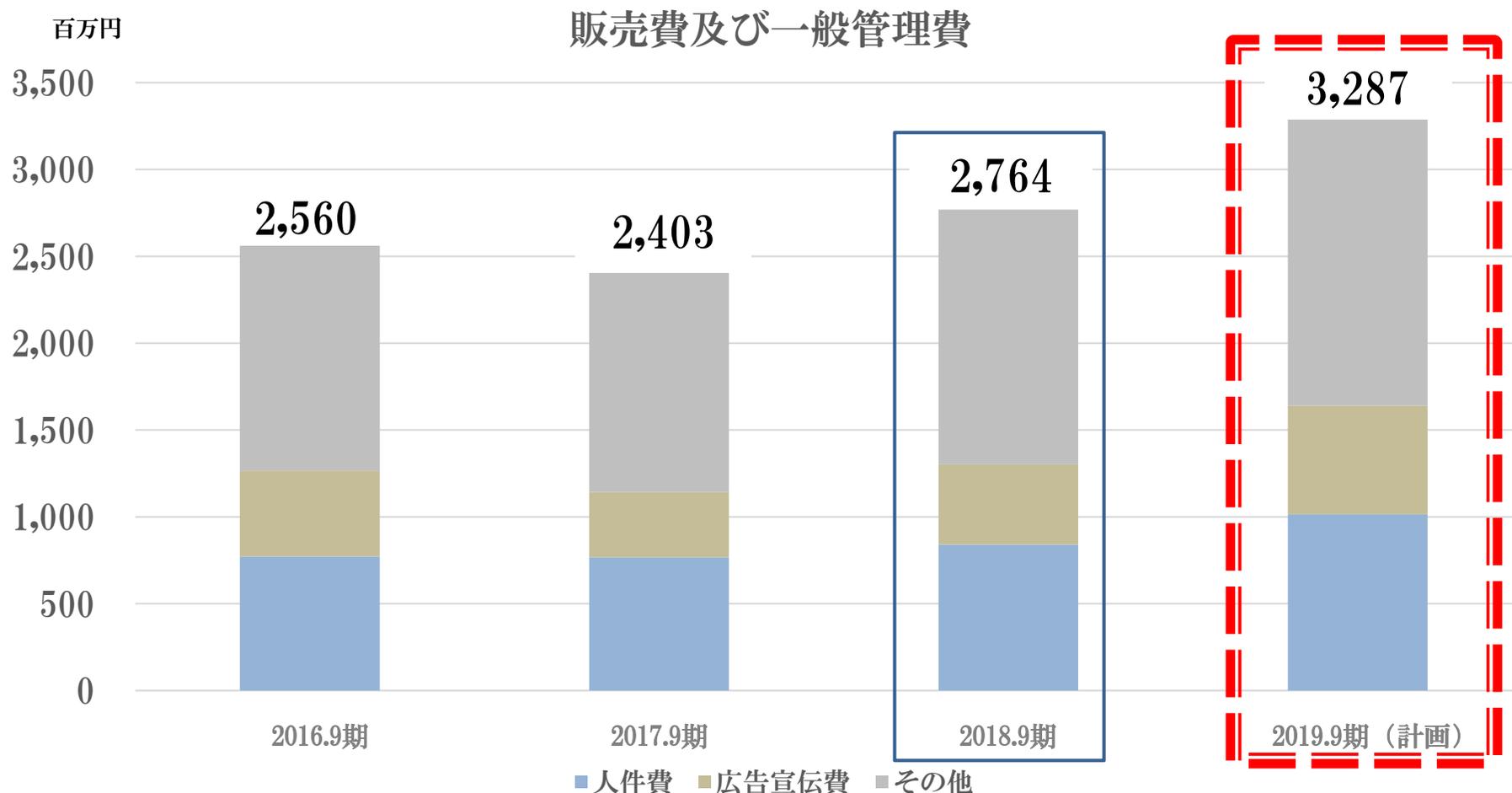
◆ **経常利益** 49百万円 (対前年比 103.5%)

- 主にカンボジア事業が大きく伸長し、カンボジア事業は対前年比363.3%(+56百万円)
3ヵ月ズレ分を含むと、対前期比626.8%(+112百万円)
- リユース事業は、対前期比113.0%(+33百万円)、経常利益292百万円。
- リサイクル事業は、ブランディング費等の一時コストにより、通期では△5百万円だったが、
一時コスト除くと65百万円と黒字化。(対前期比△17百万円)
- 共通経費は、本社移転費用等により対前期比128.9%(+70百万円)増加した。

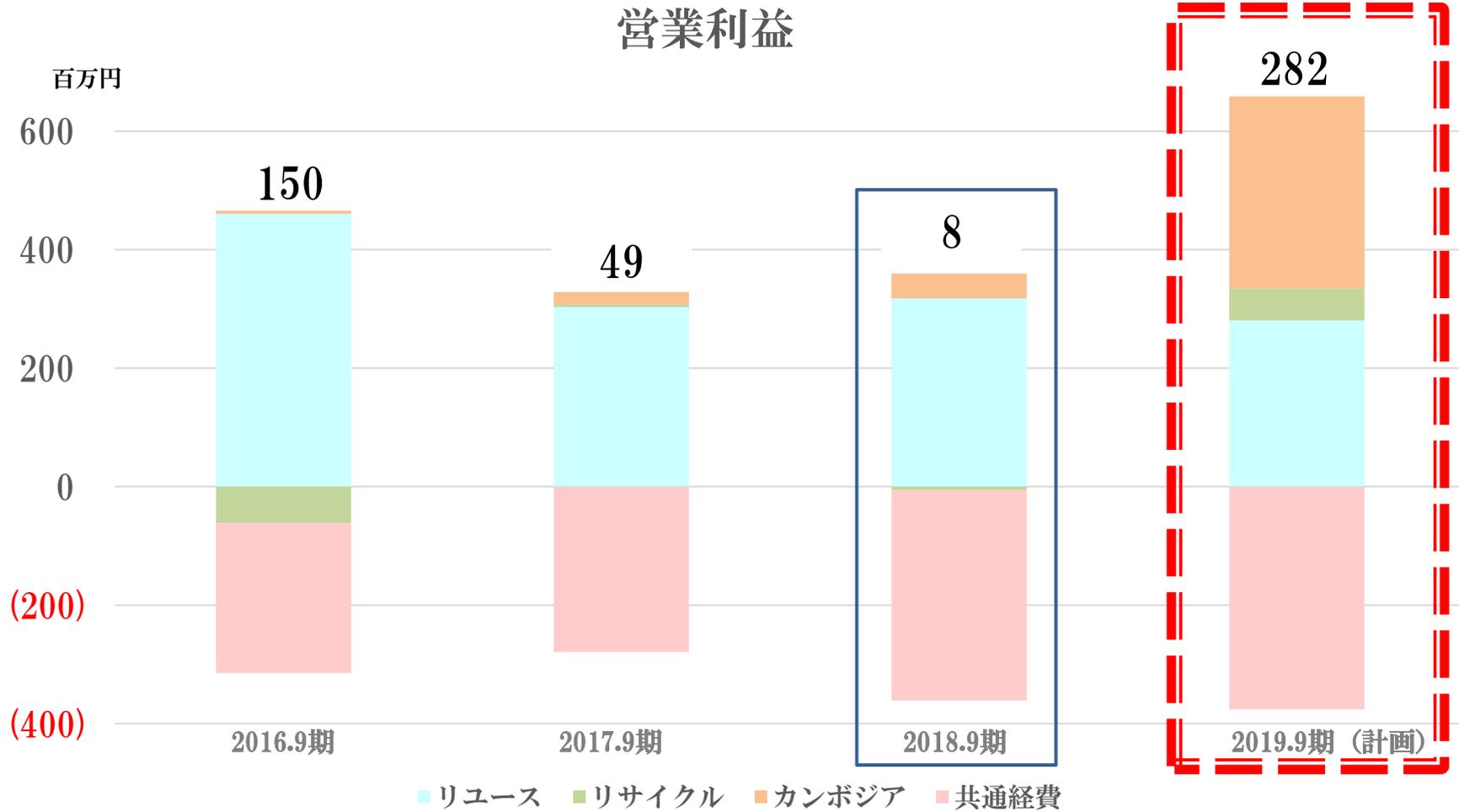
◆ 事業別の売上高推移



◆ 主要科目別の販管費推移

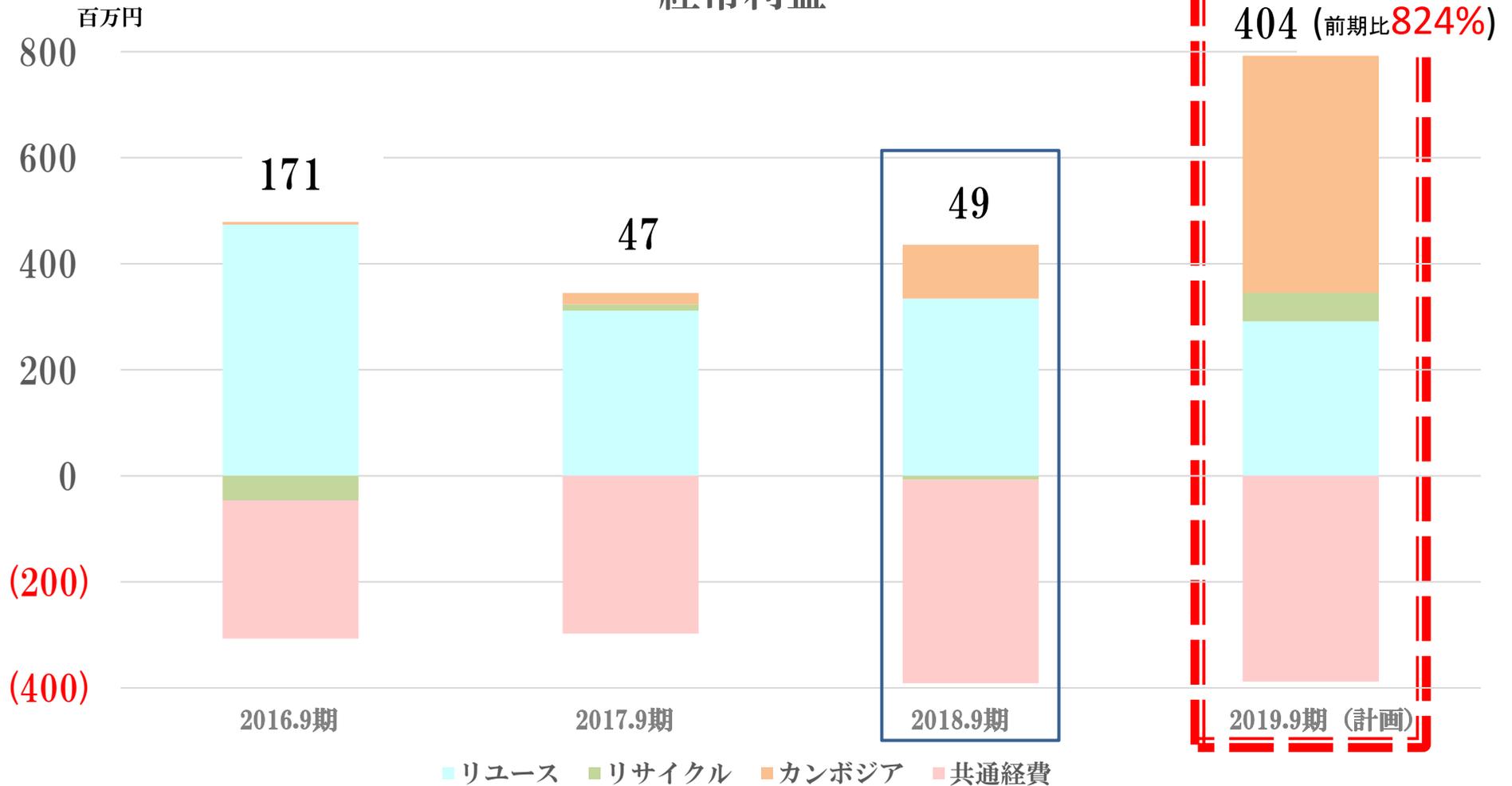


◆ 事業別の営業利益推移



◆ 事業別の経常利益推移

経常利益



金額(百万円)

【事業収益】

| | |
|---------|-----|
| リユース事業 | 292 |
| リサイクル事業 | △5 |
| カンボジア事業 | 77 |
| 事業利益 計 | 364 |

【共通経費】 △337

【為替差益】 21

連結経常利益 48

カンボジア事業に積極的に投資しており借入が増加。自己資本比率向上への取組を強化。

| 単位：百万円 | 2017年9月期 | 2018年9月期 | 増減額 | 増減要因 |
|----------|----------|----------|--------|---|
| 流動資産 | 2,045 | 4,090 | +2,044 | 主にカンボジア事業の伸長により、売掛金+535及び貸付金+1,360が大幅に増加 |
| 固定資産 | 371 | 565 | +193 | 主にChamroeun Microfinance Plc.買収により、のれん+94増加 |
| 繰延資産 | 6 | 8 | +2 | 社債発行費等+4、株式交付費△2 |
| 資産合計 | 2,423 | 4,663 | +2,239 | |
| 流動負債 | 613 | 1,787 | +1,173 | 主にカンボジア事業資金の調達により、借入金+968が大幅に増加 |
| 固定負債 | 949 | 1,947 | +997 | 主にカンボジア事業資金の調達により、借入金+768が大幅に増加 |
| 負債合計 | 1,563 | 3,735 | +2,171 | |
| 純資産合計 | 860 | 928 | +67 | 連結利益剰余金+23 |
| 負債・純資産合計 | 2,423 | 4,663 | +2,239 | |

2019年度 業績計画



グループ連結業績計画

売上高

70億円

(前期比 155%)

経常利益

4億円

(前期比 824%)

2019年度より当社の主要な指標は以下となります。

1、日本国内の数値から、海外含めた連結数値へ

当社はこれまで、ネットリユース事業が主力事業であったため日本国内事業を中心とした説明を行って参りましたが、2018年度中にネットリサイクル事業、カンボジア事業が成長したことに伴い、今後は3つの事業の“連結数値”をメインとしてご説明させていただきます。

2、営業利益から経常利益へ

当社はこれまで、事業収益の数値を重要指標として参りましたが、カンボジア事業の伸長に伴い、為替差損益等の営業外収益の数値も重要となって参りました。

従いまして、今後は、営業利益から“経常利益”を中心にご説明させていただきます。

3、セグメントを2つから4つへ

当社は上場来これまで、ネットリユース事業、ネットリサイクル事業の2つのセグメントにて開示して参りました。更に、カンボジア事業及び各事業共通経費をネットリユース事業の中に含めて計上、開示しておりましたが、カンボジア事業の伸長、及び共通経費を除いたネットリユース事業の純粋な収益の額を開示することで株主の皆様によりご理解頂くために、セグメントを「ネットリユース事業」「ネットリサイクル事業」「カンボジア事業」「共通経費」の4つへ変更致します。

今期の活動の振り返り

◆ 10月に原材料の第一回納品、1500以上の自治体へ拡大





2018年第7回スペシャルオリンピックス日本
夏季ナショナルゲーム・愛知

超える喜び。

2018.9.22 - 24

知的障がいのある方のスポーツの祭典、

スペシャルオリンピックス日本・ ナショナルゲームの大会スポンサーへ

スペシャルオリンピックスとは・・・

知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会として、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催されています。

■知的障がい者の方が活躍しているリサイクルの現場

手解体の工程に、知的障がいのある方が活躍されています。解体作業は、集中力が必要なため、知的障がいのある方の仕事としても向いていると言われており、雇用につながっています。今後はこの雇用の大幅な拡大を目指します。



- ◆ 全国の自治体と連携し、本サービスを行政サービスの一環として「広報誌」や「ごみ分別表」などを通じて普及を促進。申込件数も着々と増加。
- ◆ 現在、**175自治体(うち政令市14)**、**カバー人口3,933万人(カバー率31%)**まで拡大。

連携政令市



2018年11月1日
現在

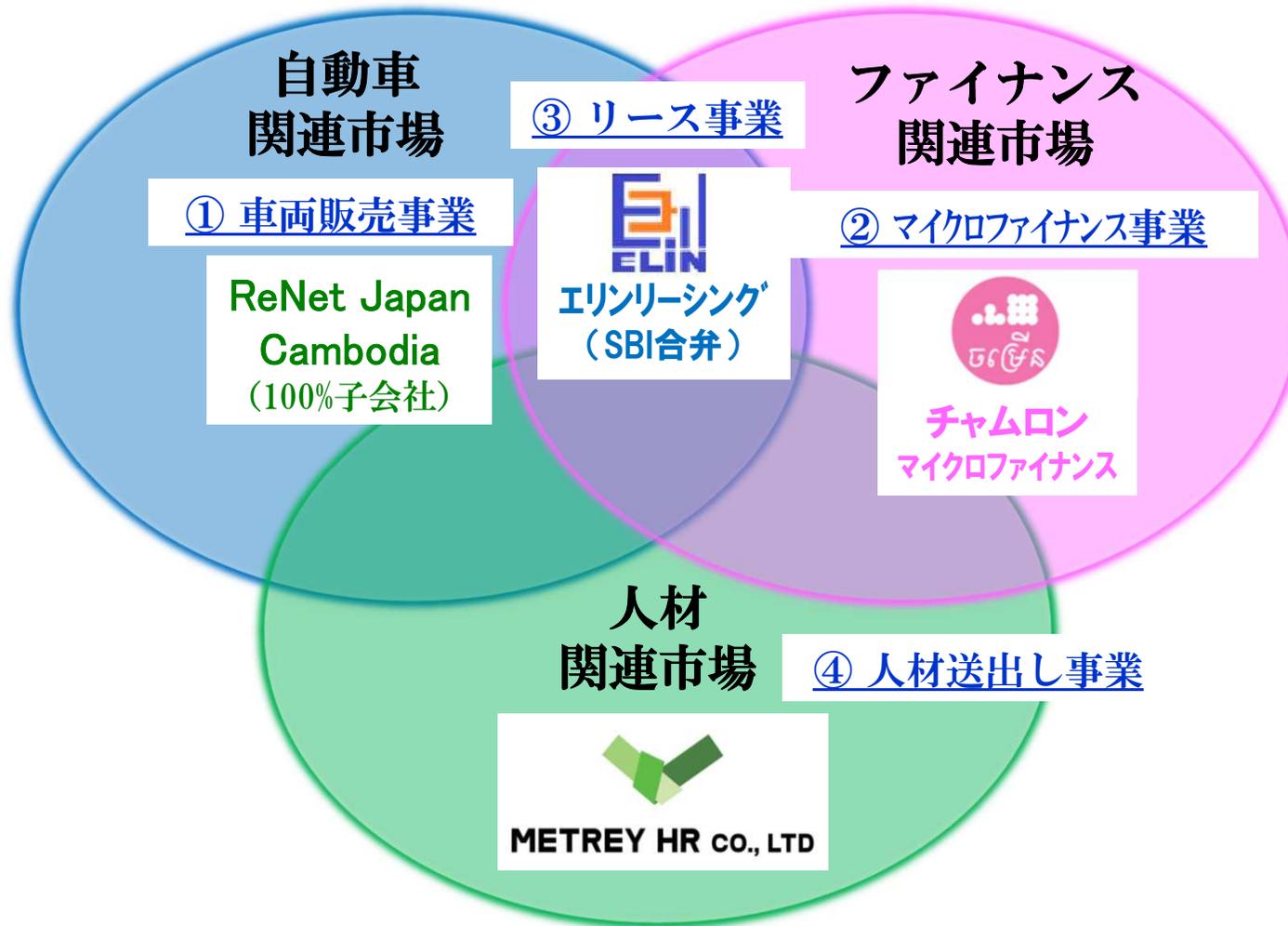
4つの事業が大きく成長！

成長が著しいカンボジア



出典：イオンモール株式会社

◆ ビジネスの「成長」と「規模」が期待できる3つの領域へ、重点的に取り組み。



ReNet Japan Cambodia（100%子会社）を設立

きっかけは、
中古農機具からそして、中古自動車へ

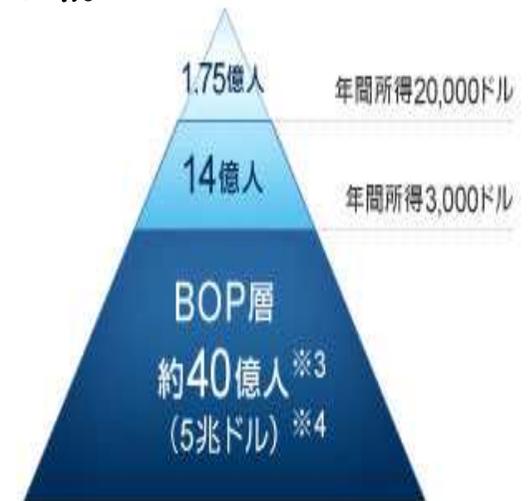


BOP事業として始まった・・・

途上国において、3,000ドル以下の低所得層を対象に、貧困によって起きている社会的な課題の解決と、ビジネスの両立をめざす事業のこと。

BOPは「Base of the Economic Pyramid(経済ピラミッドの底)」の略。

自動車整備の研修事業へ



◆カンボジア

マイクロファイナンス企業の買収完了！！

【Chamroeun Microfinance Plc. (チャムロン社)】

- ◆ 連結は10月から。業績は順調に推移、今期より収益がグループ化。

チャムロン社概要 (2018年6月期)

| | |
|--------|-------------|
| [支店数] | カンボジア全土21支店 |
| [職員数] | 208名 |
| [借り手数] | 25,267名 |
| [総資産] | 約15.1百万ドル |
| [貸付総額] | 約12.1百万ドル |



◆ 技能実習生の送出し現地法人の設立

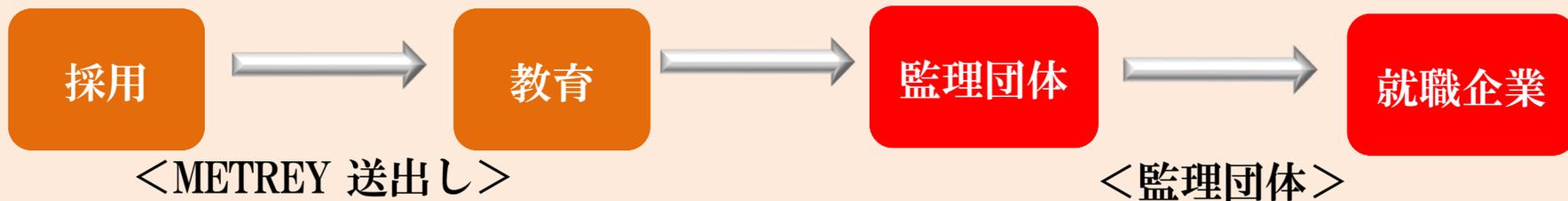
◆ 国立の職業訓練学校と提携し、自動車整備士育成からスタート



国立NPIC校 (National Polytechnic Institute of Cambodia)



METREY HRの事業の流れ



「ELIN Leasing Plc.（エリン社）」の買収完了



出資比率 51% : 49%

事業内容 ファイנטックを活用した自動車・バイク・オート三輪車・農業機器等のリース事業

振返って分かったこと



当社になら出来る、より良い社会課題解決の方法（ソリューション）が、まだまだある。

1. カンボジアの経済成長はまだまだ始まったばかり

カンボジアでの4つの事業はまだまだ成長し、新たな新規事業もまだまだこれからスタート出来る。今よりもっと、カンボジア国内で当社が出来る事業拡大・社会貢献の役割は大きい。

2. 日本国内の人材不足は深刻

当社のカンボジアでの人材送出し事業は、日本政府もカンボジア政府も期待しているところ。事業ピッチを上げる必要がある。

3. 当社のP C解体現場で活躍する障がい者の方々の働き方には、 まだまだ可能性がある

小型家電リサイクル事業は、昨今、話題となっている障がい者雇用を推進できる事業モデルとして、拡大していける。

今後の成長戦略



METREY HR co., LTD



ក្រុមហ៊ុនមីក្រូហិរញ្ញវត្ថុ ចង្រ្កែង ភ.ក
CHAMROEUN Microfinance Plc.

Renet Japan
Cambodia

ReNet.jp Group

2019年度 重点取組事項 (3つの柱)

リユース事業の安定収益に加え、成長に向けて
以下の項目を重点的に取り組み収益を拡大

1. カンボジアの経済成長はまだまだ始まったばかり。カンボジアでの4つの事業はまだまだ成長し、新たな新規事業もまだまだこれからスタート出来る。今よりもっと、カンボジア国内で当社で出来る事業拡大・社会貢献の役割は大きい。

⇒ ① **カンボジアと言えば、リネット**

2. 日本国内の人材不足は深刻。

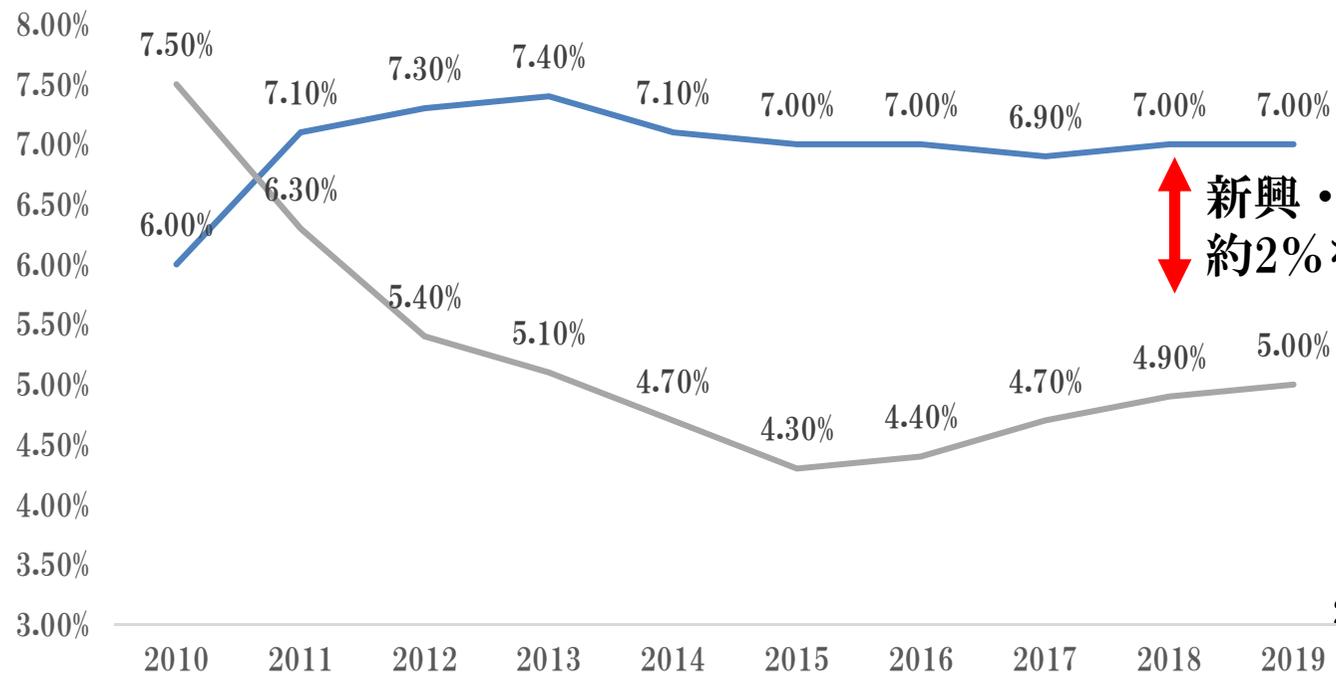
当社のカンボジアでの人材送出し事業は、日本政府もカンボジア政府も期待しているところ。事業ピッチを上げる必要がある。

⇒ ② **人手不足問題解決への取組を加速**

3. 当社の小型家電リサイクル事業のP C解体現場で活躍している障がい者の方々の働き方にはまだまだ可能性がある。

昨今話題となっている障がい者雇用を推進できる事業モデルとして、拡大していける。

⇒ ③ **障がい者雇用モデルを拡大**



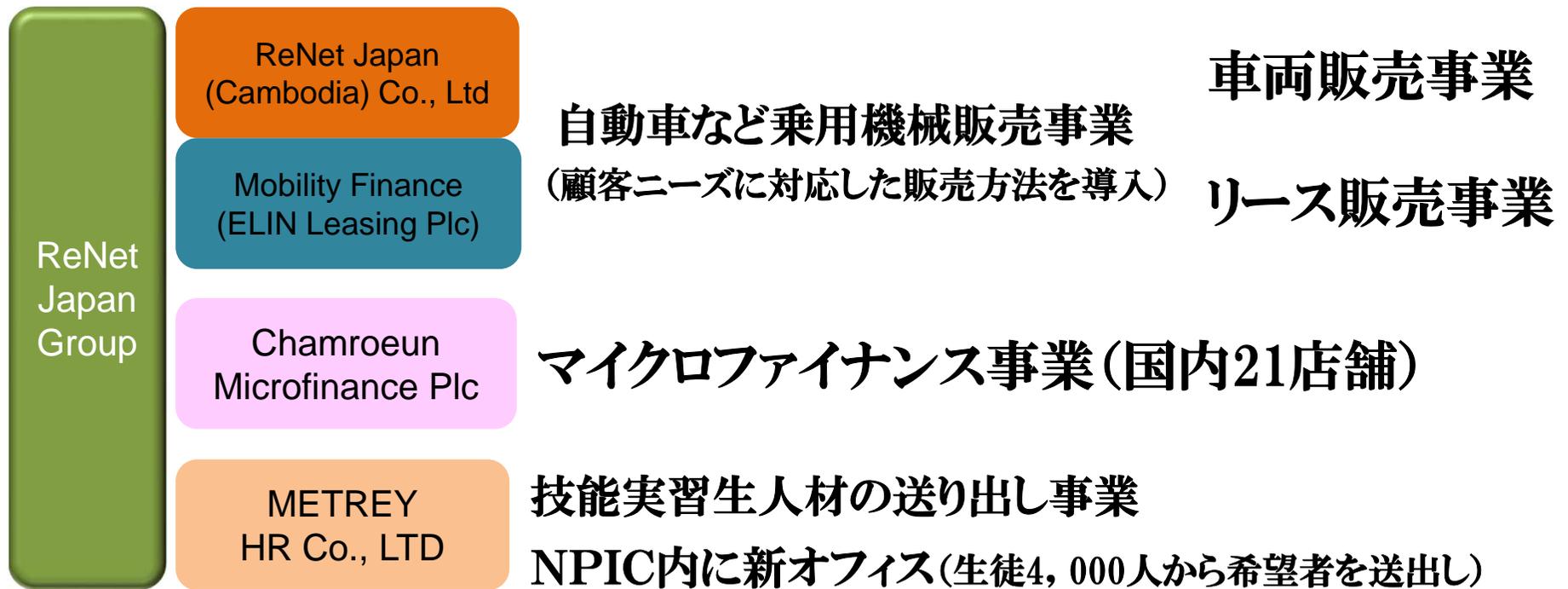
↑ 新興・発展途上国の成長率を約2%を上回る成長

2018年5月OPENした東南アジア最大のイオンモール2号店

— カンボジア — 新興・発展途上国全体



成長著しいカンボジアにおいて
日系企業を代表する存在を目指す！！



日本の人手不足問題をカンボジアが期待する就労支援で解決へ！ 日本とカンボジアの架け橋



“新しいセンター”で“新しい事業”
障がい者の雇用創造モデルをスタート

雇用拡大へ！！

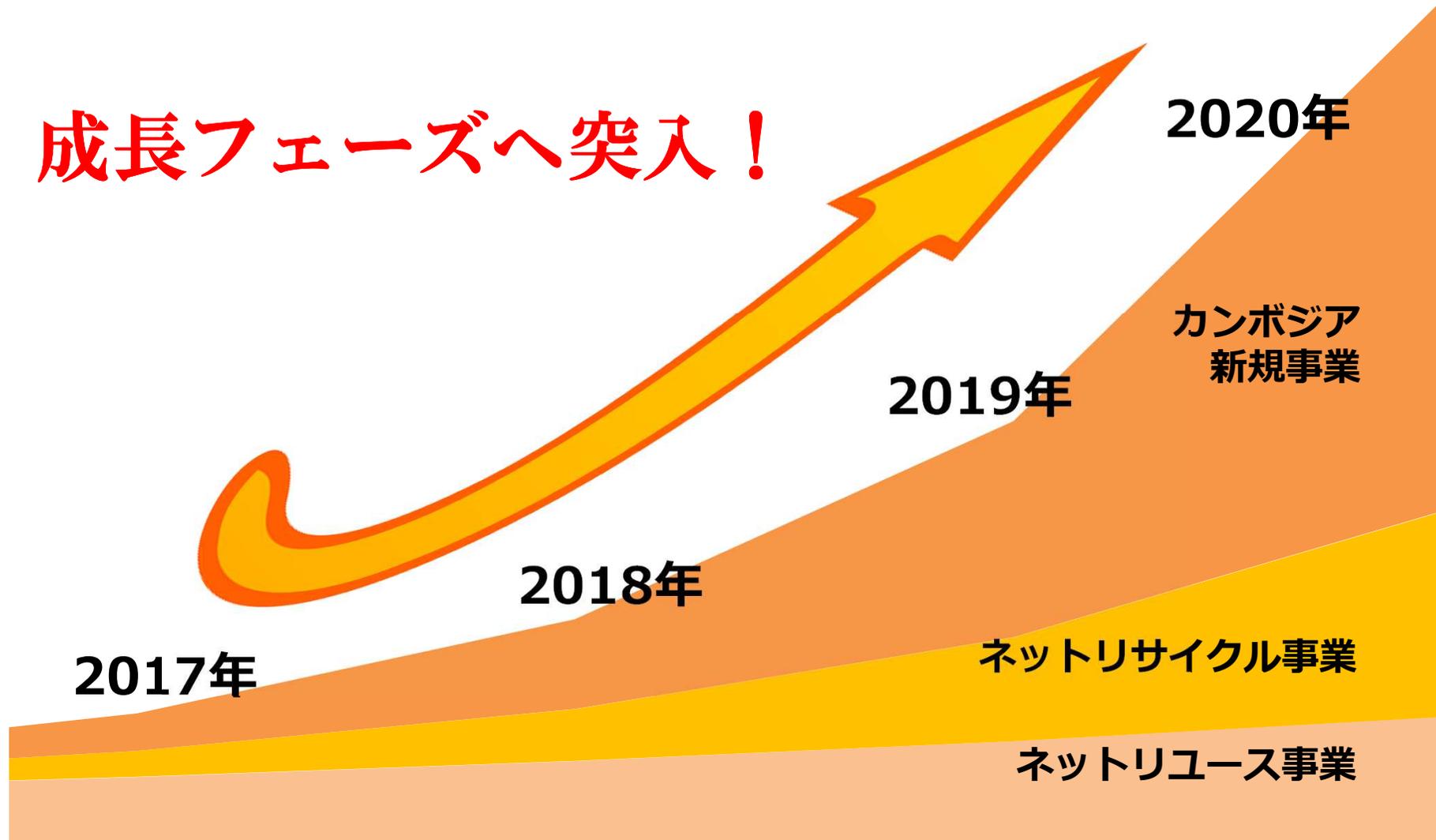
障がい者雇用問題



課題解決の一助



成長フェーズへ突入！



1. カンボジア事業の大幅な伸長。

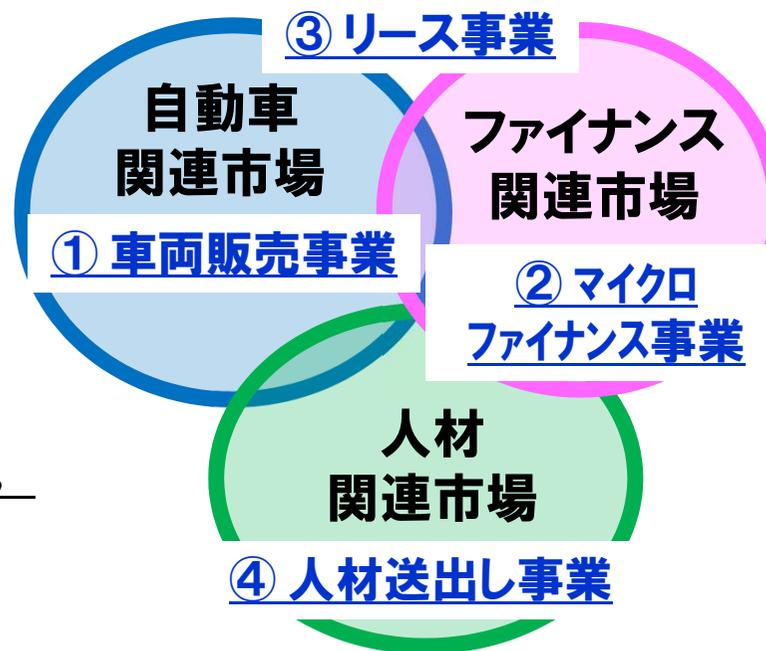
- ①車両販売・リース事業・・・2020年度までには累計台数3000台
- ②マイクロファイナンス事業・・・2021年度までの累計売上40億円突破
- ③人材関連事業・・・2021年度には年間1000人日本へ送出し

2. ネットリサイクル事業での雇用、業容拡大。

- ・・・知的障がい者の雇用創造モデル

3. ネットリユース事業での安定収益確保。

- ・・・売上向上（2020年度以降）



社名 リネットジャパングループ株式会社

資本金 582百万 (2018年 9月末現在)
設立 2000年7月
上場市場 東証マザーズ 証券コード3556
(2016年12月20日上場)
従業員数 574名 (2018年 9月末現在)
※パートアルバイト含む

代表取締役社長 黒田 武志

所在地 ●名古屋本社(2017年10月開設)
グローバルゲート26階

●東京オフィス
東京都千代田区丸の内

●第1・第2商品センター
愛知県大府市



名古屋本社 (グローバルゲート26階)

◆ 3つの事業で「Social Issues」のソリューションを提供しています。





ReNet.jp Group

名古屋本社

ネット
リユース事業

NET OFF



ネット
リサイクル事業

ReNet.jp



カンボジア
事業

**Renet Japan
Cambodia 他3社**

